

	「共生」一人ひとりが役割意識と責任感を持ち、 活気あふれるフロアへ
生産性向上の目的 経営改善 センサーゼロ	自信や向上心アップにつなげる
岡山県倉敷市	とくべつようごろうじんほ一むあすなるえん 特別養護老人ホームあすなる園
やまだ ゆか	カバクンガン・ラレン・ベルゾサ (*)、藤井智崇、田辺望夢
介護主任 山田優香 (*)	森本源、ライ、ハン、キャシー、キャロル、ハリマー、川原愛
Fax 番号 086-528-3255	

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	あすなる園は、平成 3 年 11 月に開園して以来 地域に根付き、地域の方と共に成長してきました。介護が必要になっても、その人が生まれ育った地域で いつまでも安心して暮らせる環境作りを進めています。
<p style="text-align: center;">I. <取り組んだ課題></p> <p>ご利用者が心地よく生活し、楽しく過ごすためには、日々の介護業務だけでは十分ではありません。特定の職員に負担が偏り、活動が停滞・形骸化している現状がありました。そこで、業務を「広く浅く」行うのではなく、職員一人ひとりが役割分担し、得意分野に特化して取り組むことで、活動の活性化を図ることを目的としました。活動の活性化は、ご利用者の楽しみの機会や生活のメリハリにつながり、フロア全体の活気向上に貢献します。また、若手職員が多様な活動に関わることで、役割意識、やりがい、達成感を育み、充実した時間を過ごせるようにしたいと考えました。</p> <p style="text-align: center;">II. <具体的な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CS アンケート（利用者アンケート）の結果を分析し、職員のやりがい向上にむけた取り組み状況と利用者満足度の変化について確認する。 ・ 職員が自ら役割を選択し、担当制で活動内容や時間を計画・実行する機会を設ける。 ・ 職員の興味や得意分野を活かした役割分担により、自発性を高め、主体的な行動を促す。 ・ 担当職員間のコミュニケーションを促進し、試行錯誤を通じて新たな活動を生み出す。 ・ 委員会活動との連携を強化し、多角的な視点から活動を推進する。 <p style="text-align: center;">III. <活動の成果と評価></p> <p>菜園、壁画・塗り絵、写真、誕生会の 4 つの活動において、職員が 2～4 人のチームに分かれ、担当制で取り組みました。</p> <p>菜園：ベランダでの野菜・花の栽培に取り組み、収穫したトマトを利用者様に提供し、大変喜ばれました。ただし、冬季の活動については、室内でできる内容を検討する必要性がありました。</p>	<p>壁画・塗り絵：月ごとにテーマを設定し、壁画を作成することで、季節感を提供しました。ご利用者や職員にもイラスト作成を依頼し、共同作業や会話のきっかけ作りにもつながりました。</p> <p>誕生会：メッセージ付き色紙と写真のプレゼント、誕生者の紹介、記念撮影などを実施し、ご利用者の笑顔が見られました。また、利用者様の誕生日や年齢を共有することで、日々の会話がより豊かになりました。ただし、写真の準備に時間がかかったり、日程調整に時間が掛かることもありました。</p> <p>写真：壁画やフォトスポットを活用し、ご利用者の写真を撮影しました。居室で過ごすご利用者の写真も撮影でき、ご家族にも好評でした。</p> <p>委員会活動：新職員歓迎会、職員旅行、新年会の事後にアンケートを取り、外国人職員から概ね好評な意見を得ることができた。日本人職員からも否定的な意見は無かった。避難訓練なども意欲的に行い、上手に取り組むことができていた。これらの活動を通して、職員からは「利用者様の笑顔が見られて嬉しい」「自分の得意分野で楽しく活動できた」「ご利用者との共同作業が楽しかった」など、多くの肯定的な意見が寄せられました。</p> <p style="text-align: center;">IV. <今後の課題></p> <p>今後も役割分担を継続し、活動の質を高めていきます。具体的には、写真の準備方法や誕生会の日程調整、室内で楽しめる植物の選定などを検討します。また、外国人職員が日本人職員と協力して委員会活動や避難訓練の準備などを行うためには、マニュアルの見直しや他部署との連携強化が必要です。</p>